

物流の「2024年問題」について



2024年（令和6年）4月からは、トラックドライバーの時間外労働の上限を規制する「働き方改革」の法律※が適用され、現状のままの運び方が難しくなります（物流の「2024年問題」）。

※ 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律

◆予想される問題

運転手が働ける時間が短くなることによる荷物の輸送能力の急低下

（民間シンクタンクの試算によると、2025年には全国の荷物総量の28%、2030年には35%が運べなくなる。特に農産物輸送が大きな影響を受けるとされている。）

◆予想される問題への対応

【国】物流事業者や荷主に業務の効率化を義務付ける法改正などを検討、**消費者に再配達削減に向けた注意喚起**、本年6月までに緊急対策を策定

【物流業界】宅配便を受け取れるロッカーの普及、再配達を減らすため「置き配」を活用

【荷主】共同輸送でトラックの荷台を効率的に活用

<再配達削減のために活用をお願いしたい4つのこと>（国土交通省）

- ① 時間帯指定の活用
- ② 各事業者の提供しているコミュニケーション・ツール等（メール・アプリ等）の活用
- ③ コンビニ受取や駅の宅配ロッカー、置き配など、多様な受取方法の活用
- ④ 発送時に送付先の在宅時間を確認

